

### 2021年度活動報告

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国際日本学研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

国際日本学 / INTERNATIONAL JAPANESE STUDIES

(巻 / Volume)

20

(開始ページ / Start Page)

241

(終了ページ / End Page)

248

(発行年 / Year)

2023-02-10

## 2021 年度活動報告

法政大学国際日本学研究所 (HIJAS) が 2021 年度に行った主催事業、研究会、共催事業などの概要は以下の通りであった。

各詳細については、HIJAS のウェブサイト (<https://hijas.hosei.ac.jp/>) に掲載されている。

### I 第 7 回ヨーゼフ・クライナー博士記念・法政大学国際日本学賞

2022 年 3 月 9 日(水)17 時から 18 時 30 分まで、第 7 回ヨーゼフ・クライナー博士記念・法政大学国際日本学賞の授賞式および記念講演会が開催された。

本賞はヨーロッパを代表する日本研究者であり、法政大学国際日本学研究所 (HIJAS) の設立以来、その発展に貢献してきたヨーゼフ・クライナー博士の功績を称え、海外の若手日本研究者の活動を奨励する目的で HIJAS が 2014 年に創設したものである。

第 7 回となる今回は、厳正な審査の結果、金志映 (キム・ジヨン) 氏 (ソウル大学日本研究所 PD 研究員 [韓国]) による『日本文学の〈戦後〉と変奏される〈アメリカ〉—占領から文化冷戦の時代へ』への授賞が決定した。

例年であれば、受賞者を法政大学に招待し式典が開かれるが、今回は Covid-19 のパンデミックの影響により、オンラインでの開催となった。受賞者の金志映氏は現在拠点を置く韓国から参加し、横山泰子 HIJAS 所長の司会で行われた授賞式では、オンライン上で正賞の賞状が読み上げられた。

高田圭 HIJAS 専任所員による開会挨拶では、国境を越える現象から日本を再度捉えなおすにあたって金志映氏の作品が非常に意義のあるものであり、特に日本人作家の文学作品、米国の文化政策、そして国際交流の制度といった観点から重層的にトランスナショナルな現象とその影響が描かれていることの重要性を述べた。また、HIJAS 客員所員で前法政大学総長の田中優子氏による祝辞では、現在、米国の日本への文化的影響は極めて自然なものとなってい

るが、その成り立ちをしっかりと歴史的に紐解いていくことが大切だと述べ、受賞作品を讀るとともに受賞者の今後の研究への大きな期待が寄せられた。

授賞式の後、受賞作品に基づき、冷戦下の米国による文化政策の一環として位置付けられるロックフェラー財団のフェローシップによって渡米した日本人作家たちについての講演がなされた。「アメリカを『正しく』理解し、描くことによってこれらの価値を推進」することを期待された日本人作家のフェローたちがどのように選ばれたのか、また米国体験がその後の作家活動や作品内容にどのような影響を与えたのか、といった問いに対してロックフェラー財団文書館所蔵資料で発掘された資料や文学作品を紹介しながら詳細な説明がおこなわれた。

今回の受賞作は、クライナー賞でははじめてのアジアからの作品であった。今後も世界各地の優れた日本研究の応募を期待する。

第8回については、2022年7月31日（日）を締め切りとして、募集を行っている。

## II 研究会

私ども法政大学国際日本学研究所は、文部科学省21世紀COEプログラムに「日本発信の国際日本学の構築」が、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（学術フロンティア推進事業）に「日本学の総合的研究」が同時に採択された2002年に設立された。

これらのプログラムが終了した2007年からは、同じ学術フロンティア部門で、新プログラム「異文化研究としての日本学」が採択され、国際日本学の構築に引き続き取り組んできた。また文部科学省による新たな「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（2010年度～2014年度）にも、「国際日本学の方法に基づく〈日本意識〉の再検討—〈日本意識〉の過去・現在・未来」が採択され、それらを中心に引き続き国際日本学確立のための研究活動を続けている。

そうしたなかで、本研究所が初めて提唱した「国際日本学」という学問分野は国内外において一定の認知を得ることができたと考えられる。日本研究に

において古い歴史を誇る国際日本文化研究センターが中心になって設立された「国際日本研究」コンソーシアムにも当初から参画し、様々な形での研究連携によって新たな展開もみえてきた。経済学、政治学、社会学、人類学を主な対象とする Social Science International Japanese Studies (SSIJS、国際日本学における社会科学) の観点からの研究は、特殊日本的と思われがちな日本の現象を普遍化する可能性があることから、対象を日本としながらも、他の国や地域で同様の現象を発見する研究にも力を注いでいきたい。

2021年度 HIJAS 主催の研究会・ワークショップ等を7回開催したうちの5回はこの「新しい「国際日本学」を目指して」と題した企画であった。

1 新しい「国際日本学」を目指して (10) 公開研究会「海外における女性のキモノの表象—「見る」「見られる」「見せる」の歴史人類学—」

開催日時：2021年5月22日(土)13時から14時30分

会場：オンライン実施

報告者：桑山敬己(法政大学国際日本学研究所客員所員、関西学院大学社会学部教授、北海道大学名誉教授)

司会：山本真鳥(法政大学名誉教授・法政大学国際日本学研究所客員所員)

コメンテーター：高田圭(法政大学国際日本学研究所専任所員)

2 法政大学大学院国際日本学インスティテュートとの連携強化に向けた説明会

開催日時：2021年6月12日(土)18時35分から22時

会場：法政大学大学院棟 講義室

テーマ：国際日本学研究所の紹介

説明者：高田圭(法政大学国際日本学研究所専任所員)

授業担当者：椎名美智(法政大学文学部教授)、安孫子信・小口雅史・小林ふみ子(法政大学国際日本学研究所兼担所員・文学部教授)

3 新しい「国際日本学」を目指して(11) 公開研究会「東京と今和次郎—『動き』としての惑星都市論—」

開催日時：2021年7月31日(土) 14時から15時30分

会場：オンライン実施

主催：法政大学国際日本学研究所

共催：法政大学江戸東京研究センター

報告者：クリストフ・トゥニ(立命館大学グローバル教養学部准教授)

司会：横山泰子(法政大学国際日本学研究所長・理工学部教授)

コメンテーター：陣内秀信(法政大学江戸東京研究センター特任教授)

4 第4回アルザス・日欧ワークショップ／2021年度国際新世代ワークショップ「日本研究とトランスナショナルリズム」

開催日時：2021年10月29日(金) 18時から00時15分(\*日本時間JST)

2021年10月30日(土) 18時から23時45分(\*日本時間JST)

2021年10月31日(日) 19時から00時00分(\*日本時間JST)

会場：アルザス欧州日本学研究所[フランス](\*対面・オンライン併用)

主催：法政大学国際日本学研究所(HIJAS), 「国際日本研究」コンソーシアム(CGJS), アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)

オーガナイザー／コメンテーター(アルファベット順)：安孫子信(法政大学[日本]), 黒田昭信(ストラスブール大学[フランス]), ジョセフ・キブルツ(CNRS-CRCAO[フランス]), レギーネ・マチアス(CEEJA[フランス]), 高橋希実(ストラスブール大学[フランス]), 高田圭(法政大学[日本]), 小口雅史(法政大学[日本]), エーリヒ・パウエル(CEEJA[フランス]), サンドラ・シャル(ストラスブール大学[フランス]), 鈴木裕輔(名城大学[日本]), 坪井秀人(国際日本文化研究センター[日本])

プログラム：

(1) 第一日 2021年10月29日(金) 司会：坪井秀人(前出)

・基調講演1：サンドラ・シャル(前出)／“Discovering Women’s Voices: The Lives of Modern Japanese Silk Mill Workers in Their

Own Words”

- ・基調講演 2：酒井直樹（コーネル大学 [米国]）／Internationality and Transnationality: Translation and Area Studies”
- ・報告者（若手研究者・発表順）：陳藝婕（総合研究大学院大学 [日本]）、吉田安岐（フランス国立東洋言語文化研究院 [フランス]）

(2) 第二日 2021 年 10 月 30 日（土） 司会：高田圭（前出）

- ・基調講演 3：クラウディア・デーリヒ（フンボルト大学 [ドイツ]）／“Tracing Transnationalism: Japan in Southeast Asia and the Middle East”
- ・報告者（若手研究者・発表順）：アヴァンツイ・マリア・カルロッタ（秋田県立大学 [日本]）、ジョリフ・ピア・マリア（オックスフォード大学 [イギリス]）、カシキン・ダニラ（ジュネーブ大学 [スイス]）、マリツ・ダーヴィト（ドイツ日本研究所 [日本]）

(3) 第三日 2021 年 10 月 31 日（日） 司会：安孫子信（前出）

- ・報告者（若手研究者・発表順）：山本敬洋（ハイデルベルク大学 [ドイツ]）、古賀通予（法政大学 [日本]）、ナポリターナ・キアラ・リタ（ナポリ大学 [イタリア]）

## 5 新しい「国際日本学」を目指して (12) 公開研究会「なぜ保存するのか—日本における町並み保存運動の勃興とその意味」

*(Why Place Matters: A Sociological Study of the Historic Preservation Movement in Otaru, Japan, 1965–2017 出版記念)*

開催日時：2021 年 11 月 27 日（土）14 時から 15 時 30 分

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー 26 階 A 会議室（\*対面・オンライン併用）

主催：法政大学国際日本学研究所

報告者：堀川三郎（法政大学社会学部教授，南京大学社会学院客員教授）

司会：高田圭（法政大学国際日本学研究所専任所員）

コメンテーター：米家志乃布（法政大学国際日本学研究所兼任所員・文学部教授）

- 6 新しい「国際日本学」を目指して (13) 公開研究会「海外に普及した日本のアニメーインドネシアにおける『NARUTO—ナルト—』の受容—」  
開催日時：2022年2月26日(土)14時から15時30分  
会場：オンライン実施  
主催：法政大学国際日本学研究所  
報告者：イルマ・サウインドラ・ヤンティ(法政大学国際日本学研究所客員学術研究員, インドネシア大学人文科学部講師)  
司会：横山泰子(法政大学国際日本学研究所長・理工学部教授)  
通訳：高田圭(法政大学国際日本学研究所専任所員)  
コメンテーター：鈴木裕輔(法政大学国際日本学研究所客員所員, 名城大学外国語学部准教授)
- 7 新しい「国際日本学」を目指して (14) 公開研究会「キモノが伝統になるとき—昭和の室町問屋と職人たち—」  
開催日時：2022年3月12日(土)13時30分から15時  
会場：オンライン実施  
主催：法政大学国際日本学研究所  
報告者：岡本慶子(法政大学経営学部教授・国際日本学研究所兼担所員)  
司会：山本真鳥(法政大学名誉教授・国際日本学研究所客員所員)  
コメンテーター：田中優子(法政大学名誉教授・国際日本学研究所客員所員)

### Ⅲ 共催事業

2021年度はHIJASによる共催事業が3件あった。

- 1 シンポジウム「異域から国土へ」(『近世蝦夷地の地域情報—日本北方地図史再考—』出版記念)  
開催日時：2021年8月4日(水)17時30分から19時30分  
会場：オンライン実施

主催：法政大学江戸東京研究センター

共催：法政大学国際日本学研究所，エコ地域デザイン研究センター

プログラム：

- ・講演「近世蝦夷地の地域情報—日本北方地図史再考—」  
米家志乃布（法政大学国際日本学研究所兼担所員・文学部教授）
- ・ディスカッション  
コメンテーター：森田喬（法政大学名誉教授，日本地図学会会長），  
横山泰子（法政大学国際日本学研究所長・理工学部教授）  
進行：福井恒明（法政大学江戸東京研究センター・エコ地域デザイン研究センター・デザイン工学部教授）

## 2 シンポジウム「落語がつくる『江戸東京』イメージ」

開催日時：2021年11月23日（火・祝）10時30分から16時

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎2階 S205教室（＊対面・オンライン併用）

主催：法政大学江戸東京研究センター「江戸東京の『ユニークさ』」プロジェクト

共催：法政大学国際日本学研究所

プログラム：

- ・第1部「動く江戸東京落語」  
登壇者：川添裕（横浜国立大学名誉教授），田中敦（落語名所探訪家）  
司会：横山泰子（法政大学国際日本学研究所所長・理工学部教授）
- ・第2部「落語のなかの長屋空間」  
登壇者：金原瑞人（法政大学社会学部教授），中丸宣明（法政大学文学部教授），田中優子（法政大学江戸東京研究センター特任教授）  
ディスカッサント：栗生はるか（法政大学江戸東京研究センター客員研究員）  
司会：横山泰子（前出）



### 3 シンポジウム「東アジア近世・近代都市空間のなかの女性」

2022年2月28日(月)10時30分から17時

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス 外濠校舎2階S205教室(\*対面・オンライン併用)

主催：法政大学江戸東京研究センター「江戸東京の『ユニークさ』」プロジェクト

共催：法政大学国際日本学研究所

プログラム：

#### I 身分・規範と都市

報告者：山田恭子(近畿大学), 仙石知子(二松学舎大学)

ディスカッサント：横山泰子(法政大学)

#### II 都市の可能性

報告者：岩田和子(法政大学), 小林ふみ子(法政大学), 高永爛(全北大学校)

ディスカッサント：染谷智幸(茨城キリスト教大学)

#### III 女性が描く近代都市

報告者：呉翠華(元智大学), 藤木直実(法政大学)

ディスカッサント：中丸宣明(法政大学)

#### IV 総合コメントと討論

大木康(東京大学), 田中優子(法政大学)

## IV その他

### 1 「令和3年度文化勲章」受章報告

川田順造客員所員が令和3年度文化勲章を受章した。

### 2 第1回「古典の日文化基金賞」受賞報告

ツベタナ・クリステワ客員所員が第1回「古典の日文化基金賞」の「芳賀徹記念・古典の日宣言特別賞」を受賞した。